

# 大阪経済の情勢（平成 29 年 11 月指標を中心に）

## 「大阪経済は、緩やかに拡大しつつある」

**需要面**では、個人消費は、緩やかに増加している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）は増加。家電販売額（10月）、新車販売台数は減少。家計消費支出（近畿）は増加。投資は、持ち直しの動きに一服感がみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。輸出は、緩やかに増加している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

**供給面**では、生産動向は、緩やかに増加しつつある。大阪府（10月）は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産（10月）は上昇、全国の生産（11月）は上昇。企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。雇用は、着実に改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間（10月）は増加。

**先行き**では、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

		需要								
		消費				投資		貿易・観光		
		一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (近畿)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関税外国人 旅客
11月			▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
10月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

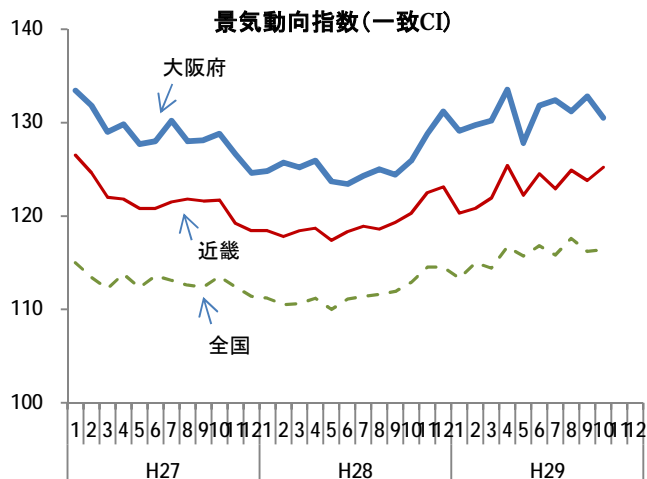
  

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)
11月		▲	▲	▲	▲	▲
10月		▲	▲	▲	▲	▲

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

### ●景気動向指数(CI)

大阪府(10月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「製造工業生産指数」、「人件費比率(製造業)」が低下に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※H22=100

#### 一致CIの個別系列の寄与度\* (大阪府、10月速報)

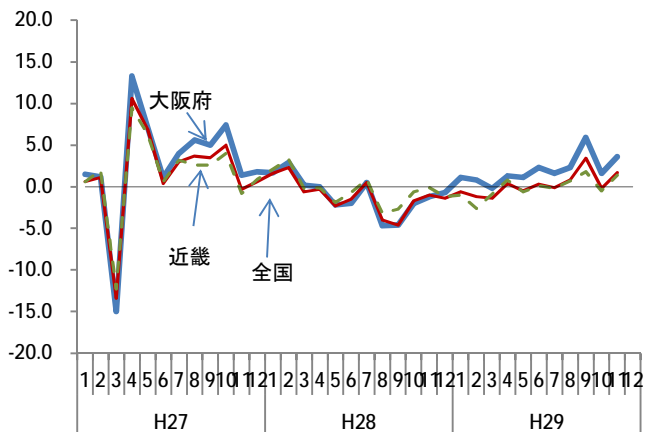
百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
▲0.65	▲0.04	▲1.04	▲0.48	▲0.72	0.55	0.11

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

### ●個人消費

個人消費は、緩やかに増加している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）は増加。家電販売額（10月）、新車販売台数は減少。

(前年同月比、%) 百貨店・スーパー販売額(全店ベース)



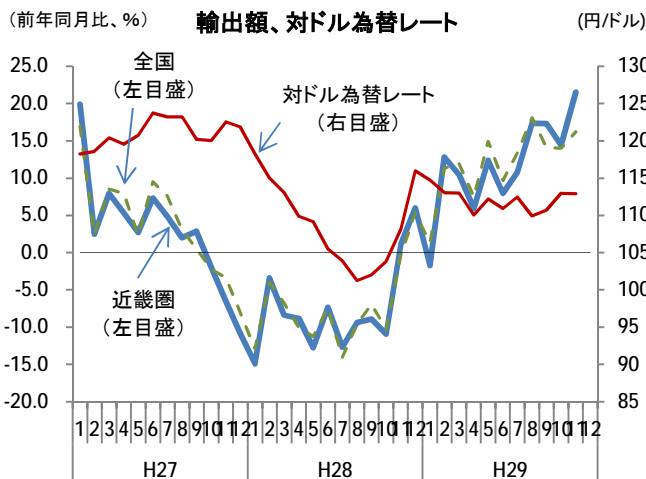
(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

#### 業態別の増減(大阪府、全店、前年同月比(%))、11月速報

大型小売店 合計		3.6
うち	百貨店	7.0
	スーパー	▲0.2

## ●貿易

輸出は、緩やかに増加している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

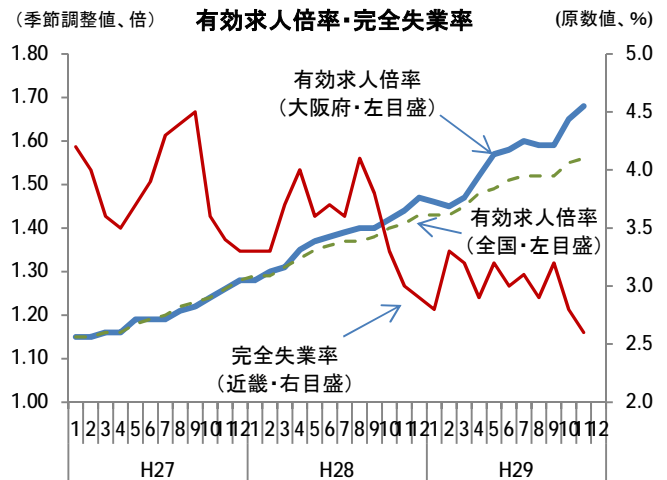
### 主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、11月速報

アジア(含む中国)	23.0	10ヶ月連続の増加
中国	28.3	13ヶ月連続の増加
EU	24.4	7ヶ月連続の増加
アメリカ	17.0	7ヶ月連続の増加

(資料)大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

## ●雇用

雇用は、着実に改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(10月)は増加。



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

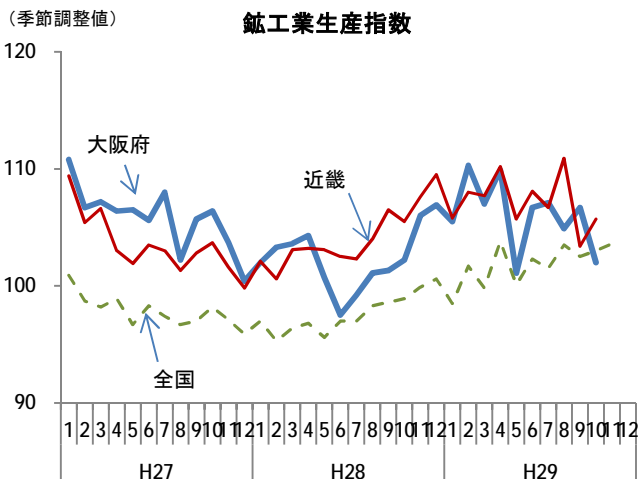
### 新規求人の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、11月

産業計	9.7
建設業	17.1
製造業	20.7
卸売業、小売業	8.7
宿泊業、飲食サービス業	▲12.0
医療、福祉	14.5

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

## ●生産

生産動向は、緩やかに増加しつつある。大阪府(10月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(10月)は上昇、全国(11月)は上昇。



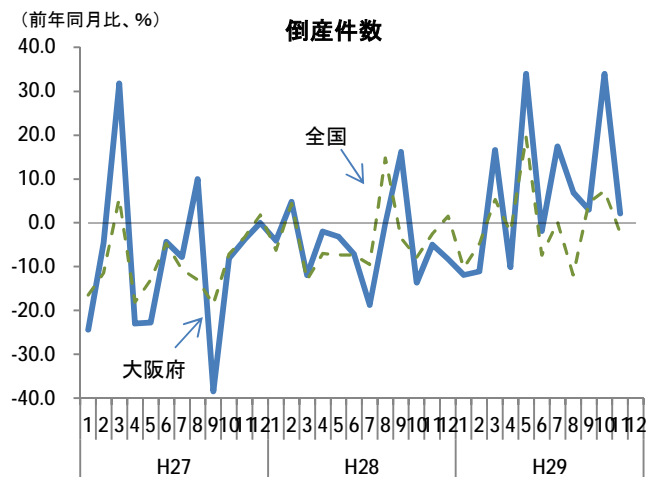
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※大阪府は製造工業指数、H22=100

### 産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、10月速報

上昇	電子部品・デバイス(4.0): 液晶素子 はん用・生産用・業務用機械(2.0): 個装・内装機械、ポンプ その他(4.6): 平版印刷(オフセット印刷)、おう版印刷(グラビア印刷)
低下	化学(▲14.0): 医薬品、アンモニア 金属製品(▲10.1): 橋りょう、飲料用アルミニウム缶 窯業・土石製品(▲9.9): 板ガラス、生コンクリート

## ●倒産

企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

### 主な倒産(大阪府、11月)

業種	負債額(百万円)
カーペット製造販売	958
蛍光エックス線分析装置ほか製造	613